

時を超え今蘇るトラディショナル



トラディショナルなアイテムの背景

講師・石津 祥介氏
Ishizu Shousuke

日本のメンズファッションの幕開けはヴァンチャケットが切り開いたといえるでしょう。

服装からファッションへ、しかし単なる流行提案とは一線を画し、ファッションのバックボーンを構成するスタイルを提案した企業、それがVANでした。

まさに先駆け、その影響は甚大で多くの三文字メーカーの誕生に直結、今日のアパレル業界の基礎を築きました。今回はその誕生から前例皆無の中での企業アイデンティティの確立秘話、そしてトラディショナルの真髄をお話頂きます。



Profil

●1935年1月31日岡山市に生まれる。●明治大学中退、桑沢デザイン研究所卒。●主婦人図報社メンズクラブ編集部を経て1960年株式会社ヴァンチャケット入社(企画宣伝部長、副社長を歴任)●1980年株式会社ウッドフォードプランニング設立。●1983年㈱石津事務所設立、現在代表取締役。
●メンズウェアの企画、宣伝を主としてアパレル、不動産、食品、IT関連各社の企画、デザイン、マーケティング部門との業務を行う。●アパレル・小売業のファッションディレクター等を歴任。●その他(社)日本メンズファッション協会常務理事、(財)日本ユニフォームセンター理事を歴任。●ボタンドウンクラブ主宰。



ピーコートの全て

講師・繁田 勇氏
Shigeta Isamu

ピーコート、トレンチやダブル、カーディガンと並びトラッドの必須アイテム。何れも軍服に起源する機能性がデザインを決定し、その完成度故に今日まで継

承されトラディショナル表現には無くてはならない不動の存在感を有しています。

今回はルーツとしての基本を確認し、様々なデザイン、パターン表現を検証すると同時に、単にメンズの世界だけではなくレディースウェアへのアレンジまで、幅広い技術的解析、提案を行います。



Pea Coat 【ピーコート】

ピー(Pea)は英語でエンドウ豆。しかし語源はオランダ語の「PIJ JEKKER=ピーエッケル」とのこと。「ピー」は「粗麻紗」「エッケル」はジャケットの意味。元はダブル等と同様、船員や漁夫の作業着がルーツで以後各国海軍が採用。デザイン=機能は他の定番的アイテムと同様、袴を立てて紐を上まで止めれば確実に首を覆う広めの袴、昨今はハンドウォーマーと呼ばれる手を暖めるためのマップポケット、更に左右からの海風を遮る左右どちらでも打ち合わせ可能なダブルブレストのリーファー。このリーファーが海軍少尉候補生を指す言葉にもなった。



Profil

●1938年5月9日静岡市に生まれる。「これからは技術の時代」と父に言われ縫製技術を学ぶ。●1959年日本洋服専門学校卒業後、銀座テーラーの裁断士となる。●1964年日本洋服専門学校で4年間教師を務める。●1968年大阪の紳士服メーカー島田貞樹でモデリストとなる。その間大阪コレクションに参加(6回)●1989年独立し㈱ドレッサージュ設立。●1997年から3年間そごう大阪店に『仕立屋・繁田勇』を出店、その後綿業会館に移転し現在に至る。●2001年中央繊維興業㈱で5年間技術指導。その傍ら2002年からエスモードジャパン大阪校の講師を務める。
●1973年イタリア貿易振興会メンズデザインコンテストでグランプリ獲得。『洋装』はじめ雑誌に多数記事連載。